

お知らせ



まちのコイン スタンプラリー

集めてプレゼントをもらおう！

P2に掲載の町内の「遊びのひろば」へ遊びに行き、「まちのコイン」アプリのスタンプラリーで、期間内に3個以上スタンプを集めていただいた方にプレゼントをお渡しします。



① 「まちのコイン」 アプリをダウンロード



詳しくは、
ホームページを
参照してください

② 遊びのひろばへ行き 二次元コードを読み取る

スタンプがたまります。
同じ場所では2回取れない
よ！
3が所以上遊びに行き集
めてね(^^)/



③ プレゼントをもらおう！

おしりナップを
プレゼント！



シーズン内に3個以上スタンプが
集まったら『ぼけっと』でプレゼント
をお渡しします。

【前期開催シーズンと交換時期】
冬シーズン…1月～3月

交換時期 3月2日～4月30日

※秋シーズン(10月～12月)の交換中です(1月30日まで)
忘れずにお越しください！

子どもと一緒に図書館へ行こう！

～赤ちゃんとお楽しむ絵本の時間～



「絵本は何才から読んであげればいい？」

「絵本を見せても、本当に見ているのかしら…」

なんて思う方もおられるかもしれませんが、赤ちゃんは絵本が大好きです。ましてや、自分を大切にしてくれる人に読んでもらえるならなおさらです。

最初は、絵本を読んで聞かせるというより、絵本を見ながらゆったりと時間を過ごすところから始めてみてください。一緒に絵本を見て「○○だね」と語りかけたり、おしゃべりしたり…赤ちゃんの絵本を見る表情や反応を楽しむうちに少しずつ赤ちゃんも絵本の世界を楽しめるようになっていきます。

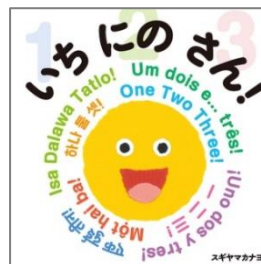
図書館には、赤ちゃんから楽しめる絵本のコーナーがあるので、どんな絵本があるのか見たり、いろいろな絵本を見せて赤ちゃんが好きな絵本を探したりしてください。

読んであげた絵本がお気に入りになったら、買ってずっとそばに置いておくのもよいかもしれません。

えほんだいすき

「いちにのさん！」

スギヤマカナヨ／作 童心社



「いちにのさん！」のかけごえでページをめくると…。ページを開くたび、驚きと笑顔があふれてきます。さらに、日本語以外の8つの言語でも書かれているので、様々な言語で読んであげることができますよ。

『指さし』からことばへ

先日、子どもたちに紙芝居の読み聞かせをしました。ことばを話せる幼児に向けてでしたが、子どもたちの輪の中に母親に抱っこされているあかちゃんもいます。紙芝居を読みはじめると、これまで静かだったあかちゃんが突然「あー、あー」と声を出し始めました。読み聞かせの声に刺激を受けたのか、まだことばにならない音声を出して、何か訴えかけるように視線もこちらを向いています。

あかちゃんにとって「ことばを覚える」のに大事なことに『指さし』があります。



指さしには相手にも「見て」「とって」という意味があり、あかちゃんと大人が同じ物を同時に見て共有することになります。これを『共同注意』と言います。「雪がふってるね」「ワンワンがいるね」などことばを語りかけることで、その物には名前があるのを知り、そのことばを発すれば、相手がそれを見てくれたり、取ってくれたりすることにつながります。ことばを覚えるだけでなく、視線やことばを通して人と共有する喜びを感じ、心の発達にもつながっていきます。

指さしの先につながる同じものを一緒に見つめながら、まだ話せないあかちゃんにもぜひことばを語りかけてほしいものです。『共同注意』は、スマホや動画から得られない大切なものです。あかちゃんが「あー、あー」と指をさしてくれたときには、手に取って一緒に触れてみるのもいいですね。

子育て・教育相談センター ことばの教室スタッフ